

## 2010年度第2回

# 日本社会福祉学会関東部会運営委員会・議事録

**日時:**2010年11月13日土曜日 18時～20時

**場所:**東洋大学白山校舎2号館3階 第1会議室

**出席者:**大島巖(日本社会事業大学)、森田明美(東洋大学)、荒井浩道(駒沢大学)、高橋克徳(聖徳大学)、竹之内章代(東海大学、社会福祉士会)、月田みづえ(昭和女子大学)、深谷三枝(明治学院大学)、山田知子(大正大学)、菱沼幹男(日本社会事業大学)

※順不同、敬称略

### 報告:

#### 1. 学会本部の報告

- ・学会員4名の所から運営委員を選出してきた。現場の方にも入ってもらってきた。現在の運営委員は28名となっている。
- ・大島氏が10月から関東地域部会の担当理事に就任した。

#### 2. 各部会活動報告

##### ○ホームページ

- ・ホームページの運営・閲覧状況について報告。毎月3万円の維持費。
- ・メーリングリストがあった方が、活性化しやすい。
- ・博士論文の公開審査の掲載を予定。
- ・RSSの導入を検討する。

##### ○ニューズレター

- ・メーリングリストでニューズレターを流すと良い。
- ・添付ファイルの貼り付けでなく、URLの貼り付けでよいのではないか。
- ・関東部会として親学会とどうつなぐかは、岩崎先生または金子先生に原稿依頼する。
- ・社会福祉学評論のアピールを原稿にする。小林先生に願います。
- ・ホームページへの情報提供の依頼をする。

##### ○「社会福祉学評論」

- ・社会福祉学評論は紙媒体から電子化した。
- ・社会福祉学評論への投稿は6月末に3本あった。2本は非受理でもう1本が審査中。

- ・関東部会は投稿から掲載まで早い。3ヶ月を目安にして結論が出るようにする。
- ・関東部会としての査読レベルを検討する必要がある。査読は現在2人で査読している。
- ・編集長のところに原稿は届かず、東洋大に投稿が集まっている。
- ・応募は添付と同時にプリントアウトしたものを提出している。

## ○研究奨励賞

学会本部との関係もあり、継続的に検討する。

## 議題：

### 1. 関東部会大会について

- ・関東部会は3月に大会を開く。
- ・大会プログラムについて12月中に調整し、1月末には紙媒体で出す。  
そのためには1月初旬に運営委員会を開催し、プログラムを確定する。
- ・2011年3月12日に 研究大会を開催する。  
会場は、東洋大学白山キャンパスで行う。  
研究発表をどう集めるか。1月下旬に周知して、2月20日までに受け付ける。  
要旨提出までの時間が短い問題がある。
- ・大会テーマをどう決めるか。  
「社会・実践にインパクトを与える社会福祉学研究とは」と暫定的に決める。
- ・学会賞（奨励賞）受賞者に講演して頂く。

### 2. 関東地域部会の経理担当者、監事、その他の担当者について

- ・関東地域部会委員会規則は案の段階。社会福祉学会理事会の承認は2010年10月に得ている。3月の総会で承認を得る。

■次回は、2011年1月7日18:30-22:30

(記録：日本社会事業大学・菱沼幹男、大島巖)